

■インド：新規石炭火力発電所が次々と運開

2012 年 7 月 5 日付の報道によると、インドのリライアンス・パワー社が西部マハラシュトラ州ナグプールに建設していたブティボリ石炭火力発電所 1 号機（最大出力 30 万 kW）が運開した。主要機器はすべて中国メーカーの上海電気社の製品である。2012 年末までに同出力の 2 号機を運開させることにしている。エッサール・エナジー社は、西部グジャラート州に建設していた、出力のヴァディナール第 2 石炭・石油混焼火力発電所 1 号機（最大出力 25 万 5,000kW）と、サラヤ第 1 石炭火力発電所 2 号機（最大出力 60 万 kW）を運開し、2012 年中にはマディヤ・プラデーシュ州シングラウリに建設中のマハン第 1 石炭火力発電所（最大出力 120 万 kW）を運開することになっている。